

4 本時（3／3）

(1) 本時の目標

- ・ 俳句を楽しみ、俳句心（詩心）や言語感覚を育てる。
- ・ グループで話し合い、意欲的に発表できる。
- ・ ゲームとして取り組むことで、俳句を楽しむ。

(2) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点
導入	1 前時の学習を想起する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習目標を明確につかむために、俳句の成り立ちや約束事を確認し、意欲を高める。
	2 本時の目標をとらえる。 「俳句メイキング」で俳句を楽しもう		
展開	3 バラバラになった俳句を組み合わせて、メイキングする。 俳句がバラバラになったよ。もともどもどしてあげよう。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ パズル形式にして、楽しく進める。 ・ 音の響きを大切にするために、音読をさせ、大意をイメージ化させる。
	4 途中までの俳句から結びを考えて、メイキングする。 最後の「五」ができないんだ。完成させて。	10	
	<p>ここでは、結句を隠して（空欄にして）そこに入る言葉を考えさせているが、例えば、「雪とけて村いっぱい（ ）かな」のように、各句の一部を考えさせることも考えられる。ここでは正解を求めるのではなく、初句や二句にある言葉から情景などを想像し、どんな言葉を入れるとよいか考えさせることが大切である。考えさせたあと、「作者はこういう言葉を入れているよ」と紹介するとよい。</p>		
	5 同じ絵を見て、それぞれのグループの俳句をメイキングする。 一人一人の俳句をドッキング、推敲しよう。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「歳時記」を参考に季語を決めさせる。 ・ 感動を何にするか、どんな言葉にするか考える。 ・ お互いのよいところを認め合って推敲する。
終末	6 本時のまとめをする。 7 次時の予告をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句メイキングについて感じたことや俳句の特徴などについて、まとめる。